

第21回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」 柏小学校の全作品が見事入選!



(一社)日本損害保険協会などが開催した第21回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において、脇田地区の『柏防災イレブン』が気象庁長官賞に、北原地区の『柏守り隊』と須ノ川地区の『早めのひなん呼びかけ隊』が佳作に選ばれ、2月25日(火)柏小学校体育館で表彰式が行われました。

同コンクールは、小学生が楽しみながら地域を探検し、防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、地域安全マップにまとめる実践的な安全教育プログラムとなっており、今回は全国から419団体・1,413作品の応募がありました。



『防災イレブン』：脇田地区



『早めのひなん呼びかけ隊』：須ノ川地区



『柏守り隊』：北原地区

見事3グループの作品全てが入選を果たし、中でも気象庁長官賞を受賞した『柏防災イレブン』の作品は、高齢者と防災の2つをテーマにマップを作成。児童らは防災マップと併せて高齢者が体力をつけて防災に取り組みやすくなる「お散歩マップ」を提案し、前向きで明るい気持ちになるマップに仕上げたことが高く評価されました。

表彰式で児童らはマップ作成を振り返り協力してくれた地域の方々への感謝の気持ちを述べ、「災害に強い地域づくりを目指し、受賞の喜びをこれからの実践に結び付けていきたい」と力強く述べました。



愛南町最年少防災士



河野虹士朗さん(柏小6年)

防災について学びを深めるうちに防災士資格の取得を決意。見事合格した河野さんは防災士ベストを着こなし、「いざという時に行動できる人でありたい」と話しました。

投稿写真

読者(町民)の皆さまが撮影した写真を掲載します。

「トンネル」

▶撮影者:山本英三さん ▶撮影場所:柏トンネル(仮称)内

町の発展に期待と希望を寄せ、日夜従事されている関係者の皆さま、協力を惜しまない地元民の方に感謝の気持ちを込めて仲間たちと30人余りで見学してきた時のトンネル内部です。



写真募集中!

掲載方法は町ホームページからご確認ください。



2/13 地域の課題解決に向けた高校生たちの取り組み
令和6年度南宇和高等学校総合的な探究の時間 最終発表会



▲活動の集大成である発表を立派に終えた生徒たち

御荘文化センターで『令和6年度南宇和高等学校総合的な探究の時間「地域未来探究」最終発表会』が行われ、高校生や町職員らが参加しました。

総合的な探究の時間は、生徒自身が物事を見抜くための考え方を働かせ、学校での勉強だけでなく、社会におけるさまざまなことを学習し、地域課題などを解決する資質や能力を育成することを目的に行われています。発表会では、町の産業や防災、医療など各分野から代表班が登壇し、10分という限られた時間の中で南高ならではの学びの成果を立派に発表しました。

発表会を終えて清水幸一校長は、「考えること、行動すること、挑戦することを今後も継続してもらいたい」と述べました。

2/15 地域の防災力向上を目指し
緑地区自主防災会 避難訓練および炊き出し訓練実施



▲防災士や区長らのサポートを受け、災害時を想定したポリ袋炊飯を体験する小学生

緑地区自主防災会の主催で地域の防災力向上を目的に避難訓練や炊き出し訓練が行われ小学生や地区住民など約60人が参加しました。

避難訓練では家屋倒壊の可能性など危険箇所をチェックしながら各家庭から緑小学校体育館前に集合し、体育館の中では被災時に実際に使用するパーティションの組み立て方や、小学校に置かれている備品について学びました。

その後、公民館へ移動し火起こし班と調理班に分かれ、炊き出し訓練を行いました。ロケットストーブを使用したポリ袋炊飯に苦労しながらも、参加者全員が被災時を想定して積極的に訓練に取り組み、完成した被災時用カレーを試食して今年度の訓練を終えました。

2/15 愛媛県夜間避難訓練モデル地区
平落自主防災会 夜間避難訓練実施



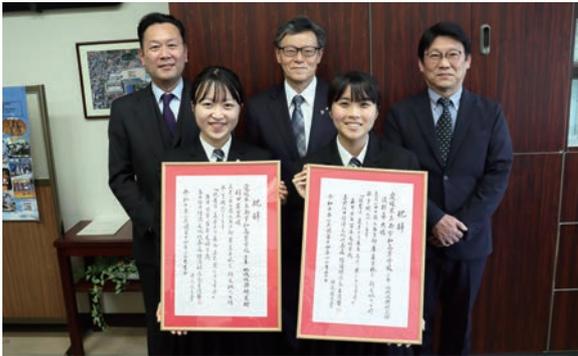
▲屋外での訓練後に行った振り返りの様子

平落地区で夜間の南海トラフ巨大地震発生を想定した津波避難訓練を実施しました。

この訓練は、愛媛県が行っている、「南海トラフ地震津波対策推進事業」の一環で、県内でも特に甚大な被害が想定されている南予宇和海沿岸5市町を対象にしています。各市町1つの地区をモデル地区として選定し、愛媛大学関係者等と交え事前計画や準備を行い、地域特性に応じた訓練を実施するものです。参加した住民は訓練後に振り返り会を行い、「夜間の避難路は思っていたより暗くて怖かった」「車での避難も検討する必要がある」「複数の逃げ道を想定しないといけない」等の意見を出し合い、成果や課題を共有しました。

2/
18

地域振興研究部の活動がつないだ縁 台北駐日経済文化代表処経済部次長様から卒業の祝辞贈呈

愛媛
CATV
動画

▲左から

後列 清水幸一校長、中村維伯町長、濱田嘉之社長
前列 稲田若菜さん(左)、浅野希央さん

南宇和高等学校地域振興研究部が町の活性化を目指し、(有)ハマスイと共同開発した「愛南ゴールド真鯛」。昨年11月に台北駐日経済文化代表処を表敬訪問した縁で、卒業を迎えた稲田若菜さんと浅野希央さんに経済部次長の王清要氏から友好親善の祝福の気持ちが込められた祝辞が贈られました。2月18日(火)に校長室で行われた贈呈式では祝辞を中村維伯町長が読み上げ2人に手渡しました。

張夫人直筆の祝辞を受け取った稲田さんは、「たくさんの貴重な経験ができたのも、支えていただいた皆さまのおかげ」と話し、浅野さんは「部活動を通して海外の方とつながれたことに嬉しい気持ちでいっぱい」と述べ、3年間の活動を振り返りました。

2/
26

移動販売の途中、勇気ある行動で高齢女性を救助 フジ南宇和店 井村木綿子さんに人命救助感謝状を贈呈

愛媛
CATV
動画

▲フジ南宇和店宮島茂店長と贈呈式に出席した
井村木綿子さん

フジ南宇和店に勤務する井村木綿子さんが移動販売車で広見地区を巡回する途中、路上で動けなくなっていた高齢女性を発見し救急車を要請するなどした適切な行動に、浅海宏貴消防長から感謝状が贈呈されました。

井村さんが女性を救助した当時、広見は雪が舞い気温は0度。発見や対応が遅れると命の危険がある状況の中、速やかに勇気ある行動をとった井村さんは、「私たちの移動販売は地域の見守り機能も持っています。地域の方々の変化に少しでも気付けるようスタッフ全員普段から心掛けていて、この感謝状はとても励みになる」と笑顔で話しました。

井村さんが救助した女性は一時入院しましたが順調に回復し、今では元気な姿で買い物に來ているそうです。

2/
26

大規模災害時等における旧長月小学校の使用に関する協定 災害時も警察機能を維持するため、県内初の協定

愛媛
CATV
動画

▲協定式を終えた中村維伯町長と村岡祥多署長

南海トラフ巨大地震等の災害で愛南警察署庁舎が使用不能になった場合、旧長月小学校を警察署の災害警備本部および災害救助隊の拠点として活用することを目的に、役場本庁で協定締結式が行われました。

旧長月小学校は津波被害を受けにくい地域にあり、学校ならではの教室ごとに区切られた構造が活動拠点として適しています。協定式に出席した村岡祥多署長は、「この協定により災害時においても警察機能を麻痺させることなく活動でき、応援に來た災害救助隊と愛南署とのより強力な連携をすることが可能となった」と力強く述べました。

今回の閉校した学校施設を災害時の代替施設として活用する協定は、県内初の取り組みとなります。

欧州向け河内晩柑「misho」の販売促進活動の報告

愛媛県の主導で進めている欧州向け河内晩柑「misho」の輸出拡大事業の一環で、愛媛県食ブランドマーケティング課職員とともに役場農林課松本仁志課長が欧州へ渡航しました。

内容は、ベルギーやフランスの卸売業者との商談のほか、フランスの専門学校での「misho」の講習会への参加などで、実質4日間(現地時間で2月17日から20日)の活動となりました。

欧州では、今や「ゆず」が定着していることから、「misho」についても生果だけでなく、その独特な風味の果汁にも興味を示す業者があるようです。

欧州への輸出にあたっては、残留農薬基準やグローバルGAP認証など、栽培面でのハードルは低いとは言えませんが、さまざまな可能性を視野に、町内栽培農家へ広く展開できるよう、県との連携のもと継続した活動が期待されます。



地域おこし協力隊 活動日記

「継続は力なり」

御荘B&G海洋センター地域おこし協力隊(スポーツ指導員)の池田昂輝(こうき)です。着任して早いもので1年が経ちました。振り返ると、水泳教室の指導・運営に重点を置き、年間400を超えるコースの指導に当たりました。その中でも手足を交互に動かす「平泳ぎ」の指導は、他の泳法とは異なる要素が多く、間違っただ癖がつかないよう技術の習得に時間を割いてきました。特に、平泳ぎ特有の動きである、「足の裏で水を蹴る」キック練習では、個々の習熟度に合わせた丁寧な指導を心掛けました。できた喜びに加え、できるまでの努力は、目標に取り組んでいく経験と自信につながることを改めて実感することができました。

これからも苦手意識を持たさないよう、あらゆる手法で泳力の向上に導いていけるよう、指導方法の工夫・改善に取り組んでいきます。



昨年度、御荘B&G海洋センターは、B&G財団より20年連続「特A評価」を獲得し表彰を受けました。これからも地域の皆さまから愛される施設となるようさまざまな事業に取り組んでいきます。微力ながら、それに関わるスタッフの一人として、着任2年目は、地域に出向き、健康体操教室を展開していく予定です。

健康で豊かな生活習慣を送るため、継続して実施できるスポーツを実践しましょう。